

校長室だより

☆教育目標☆

自ら考え判断し、進んで行動できる富中生
＜生活心得＞ 時を守り 場を清め 礼を正す
令和元年8月27日発行 No.9
富岡市立富岡中学校 校長 中村 喜雄

☆☆ 1° の努力・・・☆☆

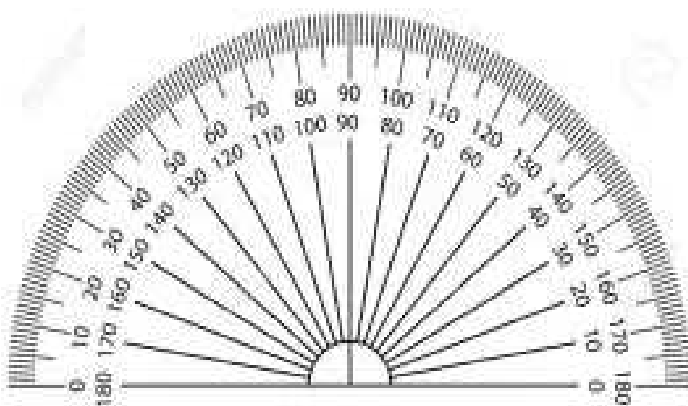
今からさかのぼること四十数年前の中学校時代、国語の書写の時間に「あなたの座右の銘を2文字で書きなさい」と言われ、私は「努力」と書きました。その時に「努力」と書いた生徒がクラスの半数以上いたことを覚えています。当時は「努力」という言葉が、今よりも大事にされていたように思います。最近の一般的な傾向なのかもしれませんが、ここ数年で、「努力」の二文字が敬遠されてきているように感じるのは、私だけでしょうか・・・。

高度に発達した情報技術等により、時の流れは、ますます速くなりました。私たちを取り巻く環境も大きく変化してきています。このような急激な変化に、企業も学校も、また一個人として、様々なことに対して適切に対応していかなければなりません。対応の仕方次第で、企業や学校の有様（盛衰・隆替）が決まってくる場合もあるでしょう。それに、何かと競争が激化している現在、企業が勝ち残り存続していくためには、それなりの努力が欠かせません。もちろん、どんなに努力しても、それが報われない社会であると主張する考えがあることも事実ですが・・・

先日、ある本で、未来を拓く若者に向けて大企業の方が「1° の努力」ということを語っているのを目にしました。努力を続けることの大切さを見事に言い表していて説得力があったので紹介します。

＜1° の努力＞

「分度器の1° の目盛りは0° の底辺からほんのわずかのところ。その辺を100m先に延ばすと、なんと1° の角度で引いた三角形の垂直の高さはおおよそ1.7m。ほんのわずかの差が人の背丈ほどになるのです。さらに、1km先までいけば約17m。ちょっとしたビルの高さになります。言い換えると、地道な目立たないほんのわずかな努力の積み重ねが、長い年月を経ると大きな差となって現れてくること。0(ゼロ)は0(ゼロ)のまま。努力をしなければ、何の進展や発展もないが、「1° 」という毎日のわずかな努力が、長い年月をかけることにより大きな差を生み出すのです。日々「1° の努力」を心がけ、飽きることなく継続する。これぞ、ビジネスにとって大事なこと・・・」



本校の生徒たちの中にも、勉強や部活動だけでなく様々なことに地道に努力している生徒が大勢います。そんな、日々努力し成長している生徒の姿を見て、嬉しく、そして、頼もしく思います・・・

本校が目指す、「自立を目指し 一歩先の自分を見据え 日々努力・成長」の実践者たちです。

